公の施設目標管理シート (直営)

年度	令和2年度					
施設名	新潟市立坂井	輪児童館	所管部·課	西区健康福祉課		
施設の 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的 設置する。					

問合世先 025-269-3154	
-------------------	--

当初予	5算(千円)	当初人	当初人員(人)		
歳入		正職員	1		
歳出		会計年度 任用職員	4		

作成日	2021.7.2
修正日	
評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考•補足	主な事業等	目標達成状況	評価	
140.			項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果	2	工は事未守	未達成理由	
1	市民	より多くの児童に遊びの場を提供する。	利用者数	11,289人	10,661人	9,916人	3,500人	3,813人	・「じどうかんだより」の配布施設 を3ヶ所増やした		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用時間を1時間に制限したり、定員を10名にしたりした為、過去の実績からは大幅に減ったが、今年度の目標は達成できた。	A:達成(優)
2	市民	多方面から関心と興味、参加 意欲を持ってもらう。	広報	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	・近隣小学校1年生への案内を行う・イベント前はポスターを掲示したり、ホームページ、子育て支援アプリ等に内容を掲載する。	イベント前チラシ配布	館だよりや区だより、HP、はぐくみLINE、 子育て支援アプリ等で新しい児童館の 利用方法を繰り返し周知した。	B:達成
3	市民		苦情・要望への対応	3項目	2項目	0項目	随時対応	アンケート回 答「良かった」 以上100%		を実施	アンケートでは講座内容が「大変よかった」・「よかった」で毎回100%の回答を得た。2 講座に関しては希望者が多かったので講師 に協力依頼をし、日程を増やした。	A:達成(優)
4	業務	子育ての楽しさを啓発する。	子育て支援	91回	93回	89回	50回	70回	・子育 て講座・ベビーヨガ・BPフ リータイム		7月から3月まで毎水曜、金曜にプ チタイムを設け、手遊びや読み聞か せ、親子ダンスなどをして楽しんだ。	A:達成(優)
5	業務	心身ともに健全な成長を促進 する。	年長児童向け事業	16回	14回	13回	16回	17回		なぞ解きに挑戦(8月)・おたのし み会(12月・1月・3月)・チャレ ンジエ作(毎月)	春休み企画として小学生向けに間 違い探しを追加した。	A:達成(優)
6	業務	発達の遅れが見られる乳幼児 に、親子遊びなどを通して発 達を支援する	発達支援	41回	41回	39回	36回	32回			4月22日から5月19日まで緊急事態宣言発出のため臨時休館を余儀なくされ、療育教室の開催が遅れた。	C∶未達成
7	業務	災害時、利用者の安全を確 保する	避難訓練の実施	2回	2回	2回	2回	2回	・職員のみ1回、利用者参加1回		消防署職員立ち会いの避難訓練 時に受けたアドバイスをもとに、職員 の役割分担の見直しを行った。	B:達成
8	人材		職員研修の実施	18回	12回	9回	14回	17回		・施設見学等	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対外的な 研修は限られたが、その分、館内研修を14回行 い、その他3回研修を受け職員の資質向上をはかっ た。	A:達成(優)
9	人材	子どもの命を守るアドバイスが できるように努める。	乳幼児の安全講習	2回	2回	2回	1回	1回			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を講じ開催した。	B:達成
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
来館しやすい居場所づくりに努めていきます。 ・年長児童へは遊びを通じて心身ともに健全な子どもに成長するように、日々の活動・事業など で支援していきます。	・新型コロナウイルス感染防止対策のため、利用時間や来館者数を制限し、消毒などを徹底して行い、安心、安全な遊びの場を提供することに専念した1年だった。児童館利用の新しい生活様式も周知されたので、来年度も引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を気を緩めることなく行っていきたい。 ・令和2年は、年度当初に予定していた外部講師による行事が、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ほとんどキャンセルになってしまった。この1年間の経験を基に、来年度は感染症対策の徹底を図ったうえで、外部講師による行事を計画していきたい。